

脆弱性対策情報データベース JVN iPedia に関する 活動報告レポート

[2023 年第 3 四半期（7 月～9 月）]

脆弱性対策情報データベース JVN iPedia に関する活動報告レポートについて
本レポートでは、2023 年 7 月 1 日から 2023 年 9 月 30 日までの間に JVN iPedia
で登録をした脆弱性対策情報の統計および事例について紹介しています。

目次

1. 2023 年第 3 四半期 脆弱性対策情報データベース JVN iPedia の登録状況	- 2 -
1-1. 脆弱性対策情報の登録状況	- 2 -
2. JVN iPedia の登録データ分類.....	- 3 -
2-1. 脆弱性の種類別件数	- 3 -
2-2. 脆弱性に関する深刻度別割合	- 4 -
2-3. 脆弱性対策情報を公開した製品の種類別件数	- 6 -
2-4. 脆弱性対策情報の製品別登録状況	- 7 -
3. 脆弱性対策情報の活用状況	- 8 -

1. 2023年第3四半期 脆弱性対策情報データベース JVN iPedia の登録状況

脆弱性対策情報データベース「JVN iPedia (<https://jvndb.jvn.jp/>)」は、ソフトウェア製品に関する脆弱性対策情報を2007年4月25日から日本語で公開しています。システム管理者が迅速に脆弱性対策を行えるよう、1) 国内のソフトウェア開発者が公開した脆弱性対策情報、2) 脆弱性対策情報ポータルサイト JVN ⁽¹⁾ で公表した脆弱性対策情報、3) 米国国立標準技術研究所 NIST ⁽²⁾ の脆弱性データベース「NVD ⁽³⁾」が公開した脆弱性対策情報を集約、翻訳しています。

1-1. 脆弱性対策情報の登録状況

～脆弱性対策情報の登録件数の累計は 171,988 件～

2023年第3四半期(2023年7月1日から9月30日まで)にJVN iPedia 日本語版へ登録した脆弱性対策情報は表1-1の通りとなり、2007年4月25日にJVN iPediaの公開を開始してから本四半期までの、脆弱性対策情報の登録件数の累計は171,988件になりました(表1-1、図1-1)。なお、本四半期よりJVN iPediaの登録件数が大幅に増えている理由は、本四半期に脆弱性が世の中に多く発見されたということの意味するものではなく、公開が遅れていた主に昨年の脆弱性がJVN iPediaの運用方法の変更に伴い多数公開されたためです。

また、JVN iPedia 英語版へ登録した脆弱性対策情報は表1-1の通り、累計で2,675件になりました。

表 1-1. 2023年第3四半期の登録件数

	情報の収集元	登録件数	累計件数
日本語版	国内製品開発者	5件	270件
	JVN	612件	13,060件
	NVD	12,811件	158,658件
	計	13,428件	171,988件
英語版	国内製品開発者	5件	274件
	JVN	41件	2,401件
	計	46件	2,675件

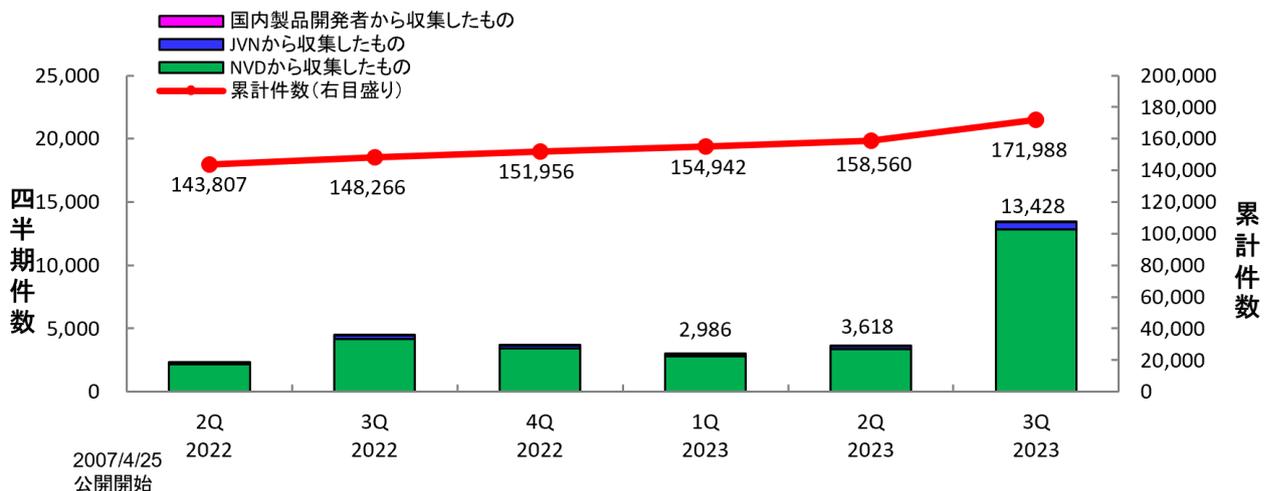


図 1-1. JVN iPedia の登録件数の四半期別推移

⁽¹⁾ Japan Vulnerability Notes : 脆弱性対策情報ポータルサイト。製品開発者の脆弱性への対応状況を公開し、システムのセキュリティ対策を支援しています。IPA、JPCERT/CC が共同で運営しています。 <https://jvn.jp>

⁽²⁾ National Institute of Standards and Technology : 米国国立標準技術研究所。米国の科学技術分野における計測と標準に関する研究を行う機関 : <https://www.nist.gov>

⁽³⁾ National Vulnerability Database : NIST が運営する脆弱性データベース。 <https://nvd.nist.gov>

2. JVN iPedia の登録データ分類

2-1. 脆弱性の種類別件数

図 2-1 は、2023 年第 3 四半期（7 月～9 月）に JVN iPedia へ登録した脆弱性対策情報を、共通脆弱性タイプ一覧(CWE)によって分類し、件数を集計したものです。

集計結果は件数が多い順に、CWE-79(クロスサイトスクリプティング)が 1,896 件、CWE-89(SQL インジェクション)が 1,153 件、CWE-787 (境界外書き込み)が 1,036 件、CWE-22 (パス・トラバーサル)が 419 件、CWE-125 (境界外読み取り)が 371 件でした。最も件数の多かった CWE-79 (クロスサイトスクリプティング)は、悪用されると偽のウェブページが表示されたり、情報が漏えいしたりするおそれがあります。

製品開発者は、ソフトウェアの企画・設計段階から、脆弱性の低減に努めることが求められます。IPA ではそのための資料やツールとして、開発者が実施すべき脆弱性対処をまとめた資料「[脆弱性対処に向けた製品開発者向けガイド](#)⁽⁴⁾」、開発者や運営者がセキュリティを考慮したウェブサイトを作成するための資料「[安全なウェブサイトの作り方](#)⁽⁵⁾」、脆弱性の仕組みを実習形式や演習機能で学ぶことができる脆弱性体験学習ツール「[AppGoat](#)⁽⁶⁾」などを公開しています。

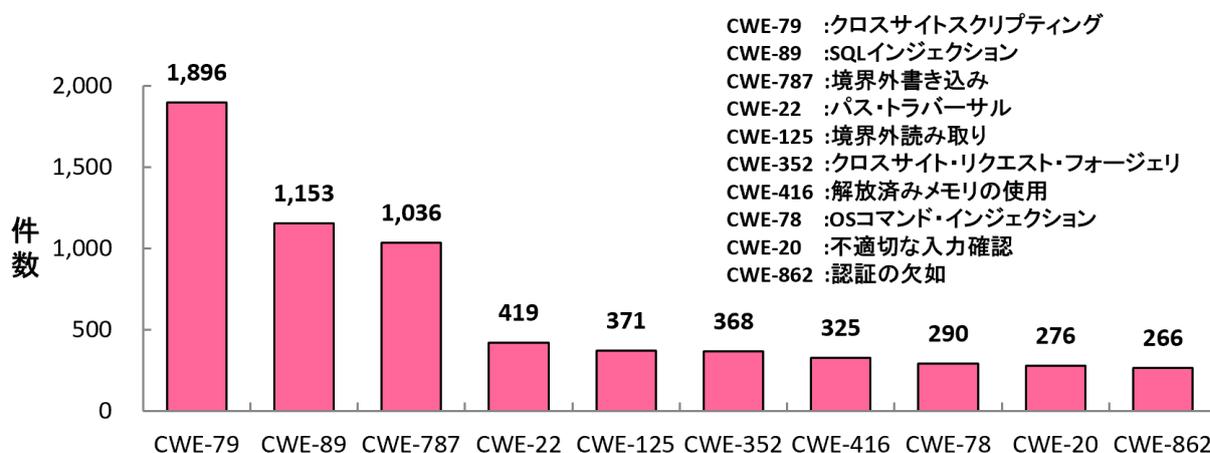


図 2-1. 2023 年第 3 四半期に登録された脆弱性の種類別件数

⁽⁴⁾ IPA : 「脆弱性対処に向けた製品開発者向けガイド」
<https://www.ipa.go.jp/security/guide/vuln/forvendor.html>

⁽⁵⁾ IPA : 「安全なウェブサイトの作り方」
<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/websecurity/about.html>

⁽⁶⁾ IPA : 「脆弱性体験学習ツール AppGoat」
<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/appgoat/index.html>

2-2. 脆弱性に関する深刻度別割合

図 2-2 は JVN iPedia に登録済みの脆弱性対策情報を CVSSv2 の値に基づいて深刻度別に分類し、登録年別にその推移を示したものです。

2023 年に JVN iPedia に登録した脆弱性対策情報は深刻度別に、レベル 3 が全体の 24.2%、レベル 2 が 60.5%、レベル 1 が 15.3% となっており、情報の漏えいや改ざんされるような危険度が高い脅威であるレベル 2 以上が 84.7% を占めています。

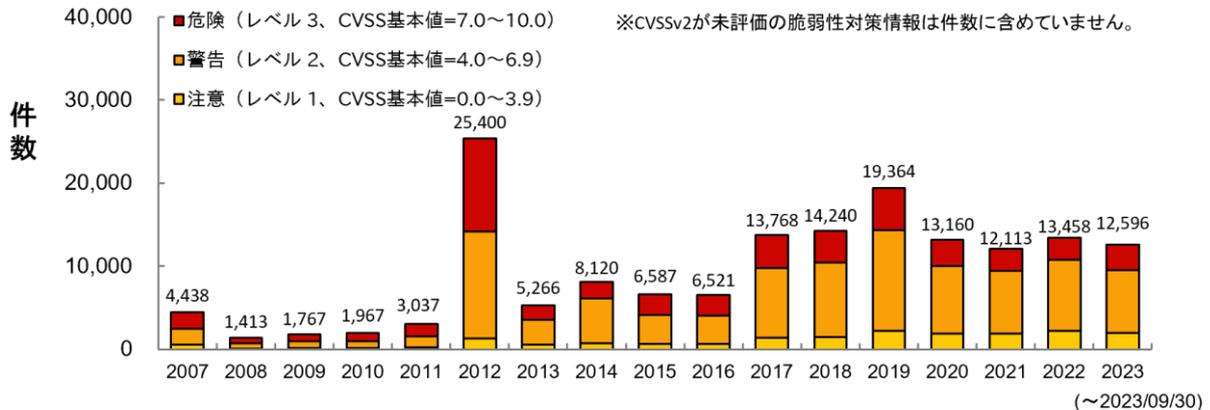


図 2-2. 脆弱性の深刻度別件数(CVSSv2)

図 2-3 は JVN iPedia に登録済みの脆弱性対策情報を CVSSv3 の値に基づいて深刻度別に分類し、登録年別にその推移を示したものです。

2023 年に JVN iPedia に登録した脆弱性対策情報は深刻度別に、「緊急」が全体の 18.5%、「重要」が 39.6%、「警告」が 40.1%、「注意」が 1.8% となっています。

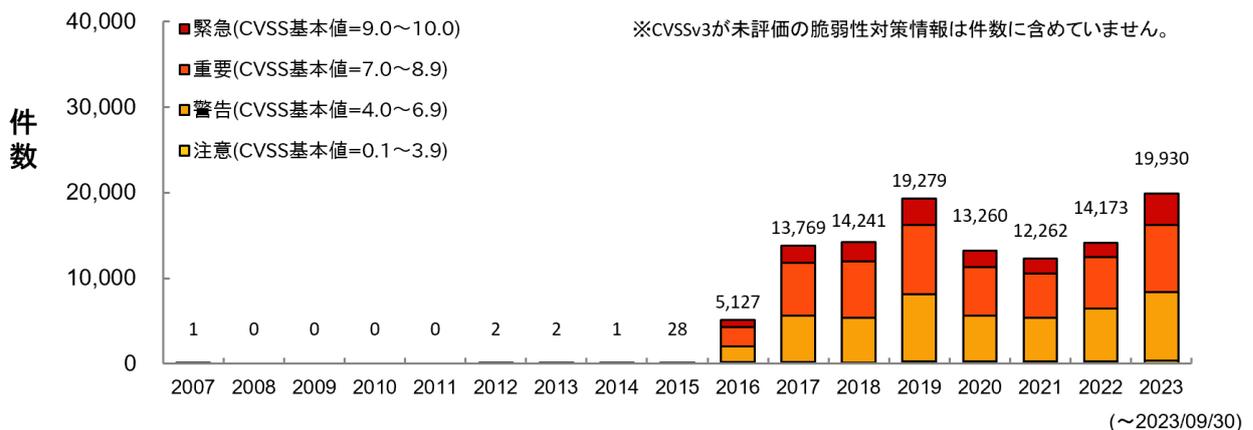


図 2-3. 脆弱性の深刻度別件数(CVSSv3)

既知の脆弱性による脅威を回避するため、製品開発者は常日頃から新たに報告される脆弱性対策情報に注意を払うと共に、脆弱性が解消されている製品へのバージョンアップやアップデートなどを速に行ってください。

なお、新たに登録した JVN iPedia の情報を、RSS 形式や XML 形式⁽⁷⁾ で公開しています。

⁽⁷⁾ IPA : 「JVN iPedia データフィード」
<https://jvndb.jvn.jp/ja/feed/>

2-3. 脆弱性対策情報を公開した製品の種別別件数

図 2-4 は JVN iPedia に登録済みの脆弱性対策情報をソフトウェア製品の種別別に件数を集計し、年次でその推移を示したものです。2023 年で最も多い種別は「アプリケーション」に関する脆弱性対策情報で、2023 年の件数全件の約 72.6%（14,540 件／全 20,032 件）を占めています。

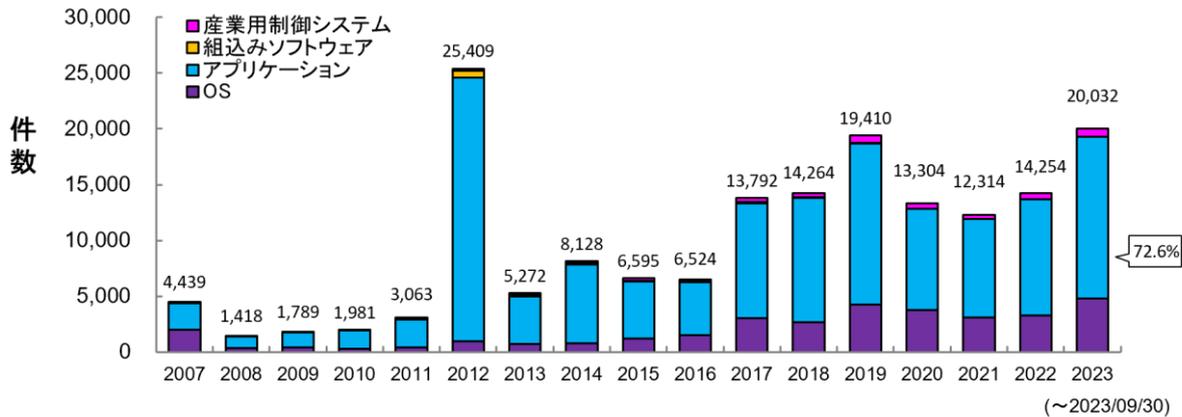


図 2-4. 脆弱性対策情報を公表した製品の種別別件数の公開年別推移

図 2-5 は重要インフラなどで利用される、産業用制御システムに関する脆弱性対策情報の件数を集計し、年次でその推移を示したものです。これまでに累計で 4,568 件を登録しています。

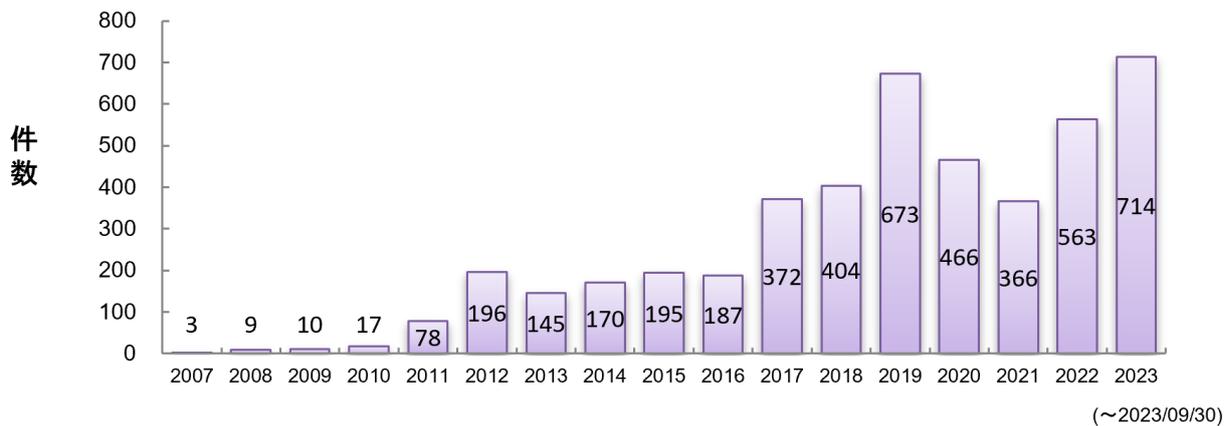


図 2-5. JVN iPedia 登録件数（産業用制御システムのみ抽出）

2-4. 脆弱性対策情報の製品別登録状況

表 2-1 は 2023 年第 3 四半期（7 月～9 月）に JVN iPedia へ登録された脆弱性対策情報の中で登録件数が多かった製品上位 20 件を示したものです。

本四半期においてはクアルコムが提供する Qualcomm component が 1 位となりました。2 位以降は Google、マイクロソフトなど、幅広いベンダの OS がランクインをしました。

JVN iPedia は、表に記載されている製品以外にも幅広い脆弱性対策情報を登録公開しています。製品の利用者や開発者は、自組織などで使用しているソフトウェアの脆弱性対策情報を迅速に入手し、効率的な対策に役立ててください^(*)。

表 2-1. 製品別 JVN iPedia の脆弱性対策情報登録件数 上位 20 件 [2023 年 7 月～2023 年 9 月]

順位	カテゴリ	製品名（ベンダ名）	登録件数
1	ファームウェア	Qualcomm component (クアルコム)	1,663
2	OS	Android (Google)	767
3	OS	Fedora (Fedora Project)	425
4	OS	Debian GNU/Linux (Debian)	421
5	ブラウザ	Google Chrome (Google)	174
6	OS	macOS (アップル)	148
7	OS	Microsoft Windows Server 2022 (マイクロソフト)	146
8	OS	Microsoft Windows Server 2019 (マイクロソフト)	143
9	OS	Microsoft Windows 11 (マイクロソフト)	135
10	OS	Microsoft Windows 10 (マイクロソフト)	131
11	OS	Microsoft Windows Server 2016 (マイクロソフト)	127
12	OS	Linux Kernel (Linux)	109
12	OS	EMUI (Huawei)	109
14	OS	Microsoft Windows Server 2012 (マイクロソフト)	107
15	その他	GitLab (GitLab.org)	106
16	OS	Red Hat Enterprise Linux (レッドハット)	103
17	OS	HarmonyOS (Huawei)	97
18	OS	Microsoft Windows Server 2008 (マイクロソフト)	90
19	その他	Magic UI (Huawei)	77
20	テキストエディタ	Vim (Vim)	72

^(*) IPA：「脆弱性対策の効果的な進め方（実践編）」
<https://www.ipa.go.jp/security/reports/technicalwatch/20150331.html>

3. 脆弱性対策情報の活用状況

表 3-1 は 2023 年第 3 四半期（7 月～9 月）にアクセスが多かった JVN iPedia の脆弱性対策情報の上位 20 件を示したものです。

本四半期は、引き続き WordPress 用のプラグインの脆弱性が多くランクインしました。これは特定の組織より機械的なアクセスを受けたことによるものです。

表 3-1. JVN iPedia の脆弱性対策情報へのアクセス 上位 20 件 [2023 年 7 月～2023 年 9 月]

順位	ID/タイトル	CVSSv2 基本値	CVSSv3 基本値	公開日	アクセス 数
1	JVNDB-2023-000067 WordPress 用プラグイン Snow Monkey Forms におけるディレクトリトラバーサル脆弱性	5.0	5.8	2023/6/27	8,667
2	JVNDB-2023-000040 WordPress 用プラグイン Appointment and Event Booking Calendar for WordPress - Amelia におけるクロスサイトスクリプティング脆弱性	2.6	6.1	2023/4/24	8,521
3	JVNDB-2023-000050 WordPress 用プラグイン MW WP Form および Snow Monkey Forms における複数の脆弱性	7.5	8.3	2023/5/15	7,920
4	JVNDB-2022-000087 WordPress における複数の脆弱性	5.0	5.3	2022/11/8	7,651
5	JVNDB-2023-000045 WordPress 用プラグイン VK Blocks および VK All in One Expansion Unit におけるクロスサイトスクリプティング脆弱性	4.0	5.4	2023/5/9	7,649
6	JVNDB-2023-000042 WordPress 用プラグイン Newsletter におけるクロスサイトスクリプティング脆弱性	2.6	6.1	2023/5/9	7,614
7	JVNDB-2023-000007 WordPress 用プラグイン Welcart e-Commerce におけるディレクトリトラバーサル脆弱性	5.0	7.5	2023/1/17	7,606
8	JVNDB-2023-000039 WordPress 用プラグイン LIQUID SPEECH BALLOON におけるクロスサイトリクエストフォージェリの脆弱性	2.6	4.3	2023/4/19	7,591
9	JVNDB-2022-000091 WordPress 用プラグイン WordPress Popular Posts における外部入力の不適切な使用に関する脆弱性	5.0	5.3	2022/11/18	7,516
10	JVNDB-2022-000085 WordPress 用プラグイン Salon booking system におけるクロスサイトスクリプティング脆弱性	2.6	6.1	2022/11/8	7,477
11	JVNDB-2023-000070 WordPress 用プラグイン TS Webfonts for さくらのレンタルサーバにおける複数の脆弱性	2.6	6.1	2023/7/20	6,774

順位	ID/タイトル	CVSSv2 基本値	CVSSv3 基本値	公開日	アクセス 数
12	JVNDB-2022-000041 WordPress 用プラグイン Modern Events Calendar Lite におけるクロスサイトスクリプティングの脆弱性	4.0	5.4	2022/6/1	6,689
13	JVNDB-2022-000038 WordPress 用プラグイン WP Statistics におけるクロスサイトスクリプティングの脆弱性	2.6	6.1	2022/5/24	6,305
14	JVNDB-2023-000084 WordPress 用プラグイン Advanced Custom Fields におけるクロスサイトスクリプティングの脆弱性	3.5	5.4	2023/8/21	5,754
15	JVNDB-2022-000023 WordPress 用プラグイン Advanced Custom Fields における認証欠如の脆弱性	4.0	6.5	2022/3/30	5,531
16	JVNDB-2022-000002 WordPress 用プラグイン Quiz And Survey Master における複数の脆弱性	4.0	5.4	2022/1/12	5,419
17	JVNDB-2022-000057 WordPress 用プラグイン Newsletter におけるクロスサイトスクリプティングの脆弱性	2.6	6.1	2022/7/25	5,379
18	JVNDB-2022-000026 WordPress 用プラグイン「MicroPayments - Paid Author Subscriptions, Content, Downloads, Membership」におけるクロスサイトリクエストフォージェリの脆弱性	2.6	4.3	2022/4/15	5,375
19	JVNDB-2021-000109 WordPress 用プラグイン Advanced Custom Fields における複数の認証欠如の脆弱性	4.0	4.3	2021/12/2	4,963
20	JVNDB-2023-000029 セイコーソリューションズ製 SkyBridge MB-A100/A110/A200/A130 および SkySpider MB-R210 における複数の脆弱性	9.0	8.6	2023/3/31	4,780

表 3-2 は国内の製品開発者から収集した脆弱性対策情報でアクセスの多かった上位 5 件を示しています。

表 3-2. 国内の製品開発者から収集した脆弱性対策情報へのアクセス上位 5 件 [2023 年 7 月～2023 年 9 月]

順位	ID/タイトル	CVSSv2 基本値	CVSSv3 基本値	公開日	アクセス 数
1	JVNDB-2023-002510 Hitachi Device Manager における複数の脆弱性	-	9.0	2023/7/19	3,570
2	JVNDB-2022-002443 Hitachi Storage Plug-in for VMware vCenter における権限昇格の脆弱性	-	5.4	2022/10/5	3,389
3	JVNDB-2023-001926 Hitachi Ops Center Analyzer におけるクロスサイトスクリプティングの脆弱性	-	7.6	2023/5/23	3,285
4	JVNDB-2022-002364 uCosminexus TP1/Client/J および Cosminexus Service Coordinator における DoS 脆弱性	-	-	2022/9/14	3,255
5	JVNDB-2023-001008 Hitachi Tuning Manager におけるファイルおよびディレクトリパーミッションの脆弱性	-	6.6	2023/1/18	3,246